



取組・活動名		「東京オリパラの感動再び！昔～現在～そして2020へ」				
校種・学年		小学校・第6学年		教科等	総合的な学習の時間	
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	15時間 【2学期】
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	
プログラムのねらい						
<p>○オリンピックやパラリンピックの競技や歴史、意義について相手に知ってもらうために、適切な課題に対して必要な情報を集めることができる。</p> <p>○オリンピックやパラリンピックの競技や歴史、意義について集めた情報を整理・分析したり、ガイドブックにまとめたりすることができる。</p> <p>○パラリンピアンとの関わりや、パラリンピック競技の経験を通して、自分の特性を最大限に生かす生き方に気づき、自分自身の可能性を押し広げていくことができる。</p>						
児童・生徒の実態						
○児童はアンバサダー認定式を行い、埼玉県内の開催競技・会場をできるだけ多くの人に伝え広める役を担った。						
プログラムと既存の学習との関わり						
<p>○昨年度は、オリンピック・パラリンピックの開催地の中から調べたい国を設定し、世界地図を使って、開催国の歴史について学んできている。</p> <p>○パラリンピックについて映像で学習したり、1964年と2020年の東京大会についての学習コーナーを見たりして、オリンピック・パラリンピックの知識を身に付けた。</p>						
指導計画・評価計画						
【指導計画】						
1 時間目	オリエンテーション DVD視聴「I'm possible」					
2 時間目	県立特別支援学校「埴保己一学園」を訪問し「フロアバレーボール」「ゴールボール」の試合を行い、交流を図る。					
3 時間目						
4 時間目	車いすバスケットボールの試合を体験したり、パラリンピアンの神保さんの話を聞いたりする。					
5 時間目						
6 時間目	神保さんにメッセージを書く。折り紙に明日へのチャレンジを書く。					
7 時間目	経験して気が付いたことを話し合う。課題を設定する。					
8 時間目	設定した課題の解決に向け、同じ課題の友だちと協力し情報を収集する。					
9 時間目						
10 時間目						
11 時間目						
12 時間目						
13 時間目						
14 時間目	自分たちが調べ、学んできたことを下級生に分かりやすく伝える。(本時)					
15 時間目	単元のまとめをする。これまでの成長を友だちと伝え合う。					

【評価計画】

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>㊦ 【課題設定】 1964年・2020年のオリンピック・パラリンピックの比較、パラリンピアンや埼保己一学園の方々との交流を通して、体験したことや調べたことを基にして課題を設定することができる。</p> <p>㊧ 【情報の収集】 課題に関する必要な情報を、学習したことを基にして集めることができる。</p> <p>㊨ 【整理・分析】 必要な情報を取捨選択し、目的に合わせて整理・分析することができる。</p> <p>㊩ 【まとめ・表現】 2020年の東京大会に向けて自分ができるところを考え、実践に結びつけることができる。</p>	<p>㊦ 【課題設定】 課題に対しての解決の見通しをもち、計画を立てることができる。</p> <p>㊧ 【情報の収集】 オリンピック・パラリンピックについて、必要な情報を調べることができる。</p> <p>㊨ 【整理・分析】 集めた情報を精査して、課題に沿った内容をガイドブックにまとめることができる。</p> <p>㊩ 【まとめ・表現】 発表の方法を考え、相手に分かりやすい言葉や表現の工夫をして、伝えることができる。</p> 	<p>㊦ 【課題設定】 スポーツに携わる方々、障がいのある方々との関わりを通して、今後の生き方について考えることができる。</p> <p>㊧ 【情報の収集】 課題解決に向けて、友だちと協働して探究活動に取り組むことができる。</p> <p>㊨ 【整理・分析】 スポーツに携わる方々、障がいのある方々の生き方を、自分たちの生き方と関連付けながら考えることができる。</p> <p>㊩ 【まとめ・表現】 探究活動を通して、学んだことを振り返り、今後の生き方に生かすことができる。</p>

(1) 本時の目標

○オリンピック・パラリンピックの素晴らしさを3年生に伝えることができる。

(2) 展開

① これまでの学習を確認し、本時のめあてを確かめる。

- ・今まで学習してきた成果を労い、今日はアンバサダーとしてたくさんの人に東京2020オリンピック・パラリンピックのよさを伝えることを確認する。
- ・パラリンピックの4つの価値「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」をおさえる。

② オリパラガイドブックや道具、ICTを活用し、6グループに分かれてプレゼンテーションを行う。

A:パラリンピック競技
「車いすバスケットボール」
(発表時間)10分

B:1964年東京
オリンピック・パラリンピック
(発表時間)5分間

C:2020年東京
オリンピック・パラリンピック
(発表時間)5分間

D:2020年 夏
埼玉県にオリンピックがやってくる
(発表時間)5分間

E:パラリンピックって
なんだろう
(発表時間)5分間

F:パラリンピック競技
「ゴールボール」
(発表時間)10分間



・学級の全員が発表できるように、人数に応じた形態でプレゼンテーションを行う。

③ 学習を振り返る。

・学習を振り返り、この発表で自分は何を一番伝えたかったことなのかを整理し、ワークシートにまとめ、発表させる。

④ 次時の予告をする。

【留意点】

伝え合いの中で、「多様性の尊重」「公德心」がしっかりと組み込まれるよう全体で確認をする。

◎発表者（6年生）

- ・声の大きさ、速さ、強弱、間のとりに方に気をつけ、大切なことを落とさずに話す。
- ・知識だけでなく、経験を通して学んだことを中心に伝えるようにする。
- ・最初の考えから変わった部分やなぜ考え方が変わったのか理由も伝える。

◎聞き手（3年生）

・もっと知りたい、調べたいと思うコーナーを見つける目的意識をもって聞く。



成果

- これまでより更に「多様性の尊重」「公德心」について考えを深めることができた。
- 3年生は次学年で行う「パラリンピック調査隊」に向けた素地を養うことができた。
- 公開授業にすることで、より多くの方に発表でき、オリンピック・パラリンピックの価値や意義、精神を広めることができた。

おすすめポイント

○学習を通して、自分自身の生き方を見つめ直すことができる。

“次代に語り継ぐ”ポイント

○自分の特性を最大限に生かす生き方に気付き、自分自身の可能性を押し広げていくことができる。